

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前 405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
中澤敏浩

19回大会から40年の節目をむかえて

2014年県連旗びらきを1月10日、ダイワロイネットホテルでひらき、各界各層より約300人が参加した。

県連を代表して中澤敏浩・執行委員長から「松下体育館でひらかれた県連19回定期大会から今年で40年目をむかえる。特定政党に占拠された県連を取り戻し、現在の運動を取り戻した意義は大きい。先人の思いを受け継ぎ、まい進しよう」とあいさつした。つづ

いて国会議員はじめ多くの来賓からあいさつがあり、鏡びらきの後に田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長の発声で乾杯した。

仁坂吉伸・県知事、大橋建一・和歌山市長、中芝正幸・岩出市長、中村慎司・紀の川市長、清原雅代・橋本氏副市長

富安民造、長坂隆司、藤本真利子

山田好雄・和歌山市議会議長、辻本宏・新宮市議会議長、山本忠相・和歌山市議会議長、辻本意典・有田市市議会議長、吉本勸曜、岩出市市議会議長、石本一也・湯浅町議会議長

田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会兼共闘会議議長、赤松明秀・県同宗連議長、津村清信・同事務局長、高橋格昭・本願寺鷲の森別院輪番、深真樹・総本山金剛峯寺、上田賢司・和歌山商工会議所事務局長、湯川恭英・和歌山県商工会連合会事務局長、中村孝臣・JA和歌山中央会、野見山海・社会民主党和歌山県連代表、裏野勝也・和歌山県平和フォー



乾杯の発声をする田上武・会長

ラム代表、野口道彦・和歌山人権研究所理事長、辻健二・同事務局長、胡るみ子、同所、矢野治世美・同所、戸上良章・関西電力(株)和歌山支店支店長、河波潤・同人材活性化グループ課長、植松茂高・同副課長、中島昂亮・同グループ、和田浩一、あいおいニッセイ同和損保(株)総務グループ、貝崎伸一、UDトラックスジャパン(株)企画業務部、井出良治・日の出証券(株)和歌山支店課長、山崎浩司(株)エム・イー・エス由良総務部課長補佐、安田武史・関西アーバン銀行和歌山支店支店長代理、池永明・きんでん和歌山支店業務部長、坂井一成(株)商工組合中央金庫和歌山支店次長、森健一・山九(株)支店、坂井泰三(株)スズキ自販和歌山管理部長、辻野誠・明治安田生命保険相互会社総務部長、山本典生・田辺三菱製薬(株)総務課、石井清・日本生命保険相互会社和歌山支社次長、井村浩之・三菱UFJ信託銀行(株)和歌山支店次長、杉谷雅史・県共闘会議議長、坂頭徳彦・自治労和歌山県本部執行委員長、野口宗宏・和歌山県職員労働組合書記長、嶋本佳和・N T T労働組合和歌山分会分会長、濱野幸紀・本州化学王道組合執行委員長、南方栄三・日教組和歌山書記長、藤井幹雄・顧問弁護士、宇恵元昭・和歌山県市長会事務局長、中畑昭男・和歌山地方新聞協会副会長、森正樹・元県議会議

員、尾花正啓

中央本部、愛知県連、大阪府連、奈良県連、兵庫県連、香川県連、島根県連、山口県連、広島県連、佐賀県連、長崎県連

二階俊博、石田真敏、岸本周平、鶴保庸介、門博文、浮島とも子、世耕弘成

望月良男・有田市長、真砂充敏・田辺市長、田岡実千年・新宮市長、寺本光嘉・紀美野町長、井本泰造・かつらぎ町長、岡本章・九度山町長、木瀬武治・高野町長、上山章善・湯浅町長、西岡利記・広川町長、森下誠史・美浜町長、中善夫・日高町長、市木久雄・日高川町長、井潤誠・白浜町長、小出隆道・上富田町長、武田丈夫・古座川町長、田嶋勝正・串本町長、奥田貢・北山村村長、山田正彦・和歌山県議会議長、宇野博治・有田市議会議長、塚寿雄・田辺市議会議長、堀龍雄・かつらぎ町議会議長、梅野光児・串本町議会議長、大石哲雄・上富田町議会議長、南勝弥・白浜町議会議長、長坂隆司・和歌山県議会議員

片山博臣・和歌山商工会議所

(順不同・敬称略)

頑健

新年のお勉強の時間。今年の干支は「午」で、語源は「餅つき」からきている。意味は「草木の成長が終わり、衰えをみせはじめた状態」といわれている。新年早々あまり良い感じではない。そこで、「馬」を「馬」として、馬の力を借りて景気付けをしている▼昨年12月にネルソン・マンデラさんが亡くなった。10年以上前になるが、大阪や東京で開催されたマンドラを支援する集会に参加したことを思い出した▼また、偶然テレビでアメリカ映画「インビクタス」/負けざる者たち」を観た。映画は、95年に南アフリカで開催された「ラグビー」ワールドカップ」を舞台に、新生南アの建国と民族融合にかけるマンデラの苦悩と夢を描いたもので、主演にモーガン・フリーマンが、ラグビーチームの主将をマッド・デイモンが演じた。タイトルの原題は「征服されない」で、今日もなお困難な南ア情勢をみても意味が深い▼マンデラの死後、特番でドキュメンタリーが流されていた。そのなかで、インドのガンジーやアメリカのキング牧師と比較されるシーンで、彼は両者を称えるが、マンデラはマンデラの闘いという印象であった▼同じ頃、日本では「特定秘密情報保護法」の強行成立、安倍首相の靖国参拝など、立て続けに起こり、新年を迎えたのである▼話がかわるが、年末、知人からいただいた小さな鉢植えの「梅」に蕾が付き、この文章が皆さんに届く頃(みにきても)らうほどではないが)きつと満開である...

(S・I)